フード･フォラム・つくば　秋の例会(ハイブリッド開催)

SDGs達成に向けた食品産業の真の取り組み

日　時：2022 年 11 月 11 日（金）13：15～16：50
会　場：フクラシアハ重洲　会議室Ａ　および Web 配信（Zoom）
（〒104-0028 東京都中央区八重洲２丁目４-１ 住友不動産八重洲ビル 3F）

★新型コロナウイルス感染症対策に関して、適切な感染拡大防止対策をしてまいります。ご協力をお願いいたします。なお、今後の感染状況によってはオンライン開催のみになる可能性もあります。

挨　拶　13：15～13：20　間　和彦 氏（フード･フォラム・つくば 幹事長）
亀山眞由美 氏（農研機構 食品研究部門 所長）
(質疑応答含む)

講演１．13：20～14：10

SDGs×食品産業～サステナブルな取組の始め方～

片山 健太郎氏（農林水産省　新事業・食品産業部
企画グループ　新事業・食品産業専門官 ）

食品産業におけるサステナビリティ課題にかかる国内外の動きや、 先進的な取組事例にかかる情報提供とともに、SDGs の達成に向けた取組を始める際に留意すべき点などについてお話しします。

講演２．14：10～15：00

粕を活かして健康寿命延伸を！
～さまざまな食品工場副産物から創り出す機能性食品素材～

間 和彦氏（株式会社ニップン 中央研究所 イノベーションセンター）

食品工場から発生する副産物や粕のリサイクルフローを構築し食品ロスに貢献するとともに、副産物から抽出された成分が持つ健康機能性を証明し、セラミド、オリーブ果実マスリン酸、パミスエキス、アマニリグナン、ブランエースなど付加価値のある健康機能性素材として数多く製品化しました。

休　憩　15：00～15：10

講演３．15：10～16：00

持続可能なコーヒー生産の実現に向けた、インドネシア国での取り組み
～コーヒーの未来を守るために～

川股 一雄氏（キーコーヒー株式会社 取締役 副社長執行役員）

今ほど SDGsの概念がなかった約 50 年前から、当社はインドネシア国にて自社農園を経営、コーヒー生産から社会貢献までを取り組む「トラジャ事業」に着手しました。これまで現地のコーヒー生産者と共に「トラジャブランド」を築いてきた中、現在抱える新たな課題や今後の展望などを幅広く紹介します。

講演４．16：00～16：50

サラヤにおける SDGs への取り組み

牧野 敬一氏（サラヤ株式会社 サステナビリティ推進本部 SDGs 推進室）

自社製品の原料のひとつであるパーム油の調達先であるマレーシア･ボルネオ島における環境保全活動や、東アフリカ･ウガンダでの衛生環境改善のための各種プロジェクトなど、サラヤで実施している SDGs に深く関わる活動をご紹介します。